新居浜市ＩｏＴ推進ラボ
（企業のデジタル化の推進支援）

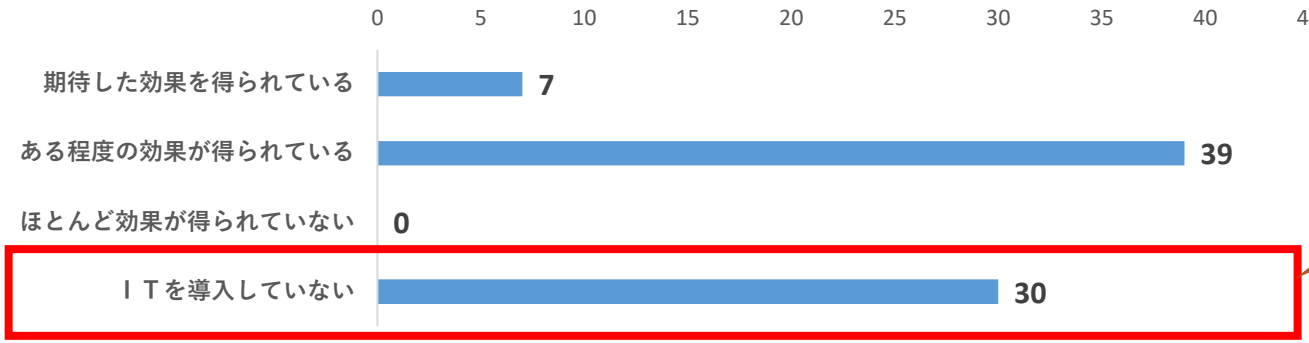
令和３年６月２５日

新居浜市

えひめ東予産業創造センター

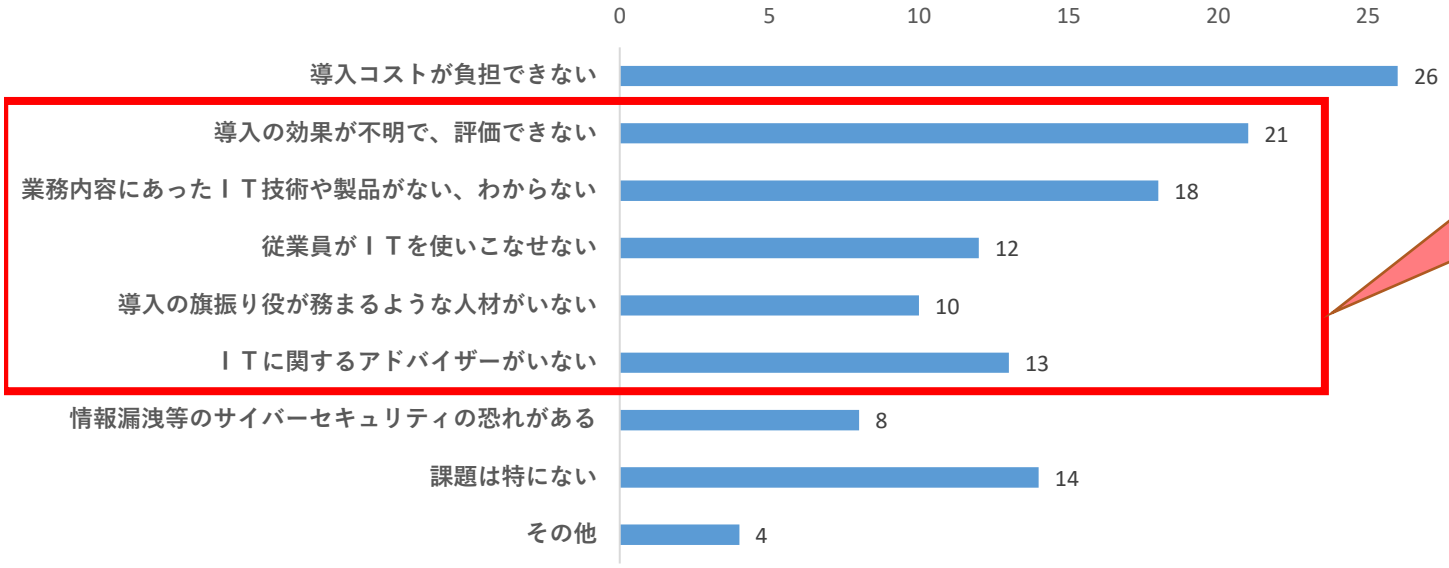
市内中小企業のＩＴ利活用の状況及び課題について

ＩＴの利活用及びその効果



回答企業の約４割が
ＩＴ未導入

ＩＴ導入・利用を進める際の課題

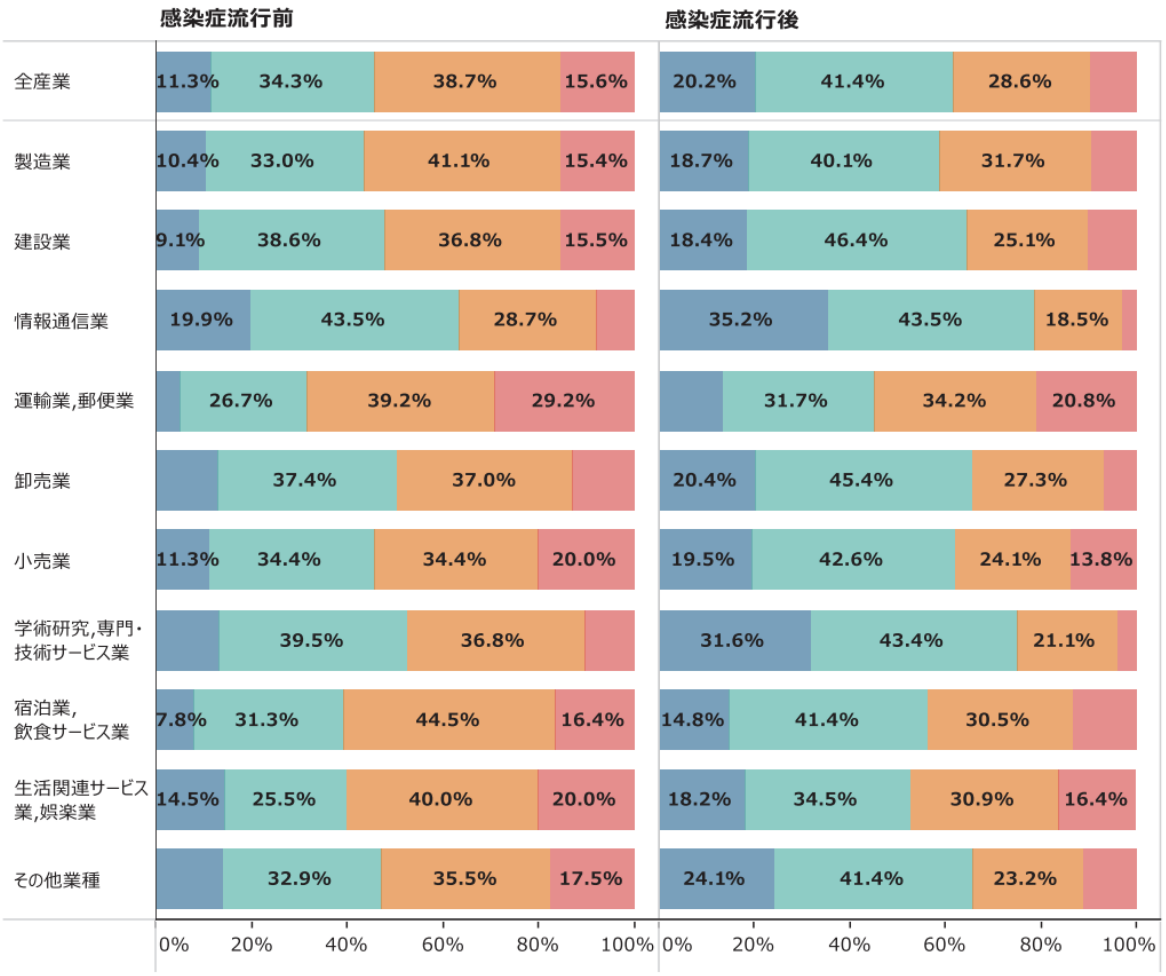


課題の多くは
ＩＴ知識・人材不足

出典：産業振興課　調査（中小企業振興制度に関するアンケート、令和元年７月実施）　市内中小企業２２２社に送付のうち、７８社回答

新型コロナウイルスにより加速するデジタル優先度

デジタル化に対する優先度の変化（感染症流行前後）



資料：（株）野村総合研究所「中小企業のデジタル化に関する調査」

出典：２０２１年度版「中小企業白書」（中小企業庁作成）

デジタル化に対する優先度の変化

○事業方針上の優先順位が「高い」、「やや高い」の割合が増加

（コロナ前）　（コロナ後）

全産業：４５.６％ ⇨ ６１.６％

製造業：４３.４％ ⇨ ５８.８％

建設業：４７.７％ ⇨ ６４.８％

情報通信業：６３.４％ ⇨ ７８.７％

小売業：４５.７％ ⇨ ６２.１％

今後、全産業において、デジタル化の加速が予想される

新居浜市IoT推進ラボ

事業の内容

事業目的・概要

- 新居浜市IoT推進ラボでは、企業のDX推進、DX・IT人材育成、IT企業誘致の３つの観点から、地域のデジタル化を推進する事業を総合的に実施し、ものづくり企業とIT企業・起業家との共創による、新たなイノベーションの創出へと繋げる。

重要業績評価指標（KPI）

- 企業のDX戦略策定支援件数：１０件／年間
- IT企業の誘致件数：１件／年間
- 新事業（新製品・サービス）創出件数：２件／年間

今後の展開

- 将来的には、IoT推進ラボにおいて実施する事業を地域内で完結する仕組みを目指す。具体的には、えひめ東予産業創造センターにてDX戦略の策定からフォローアップ、市内中小企業からDXベンダーの創出、地域のIT起業家等による人材育成や企業誘致したIT企業の先端IT技術の活用など、地域内でデジタル推進に関する支援・連携体制の構築を図る。

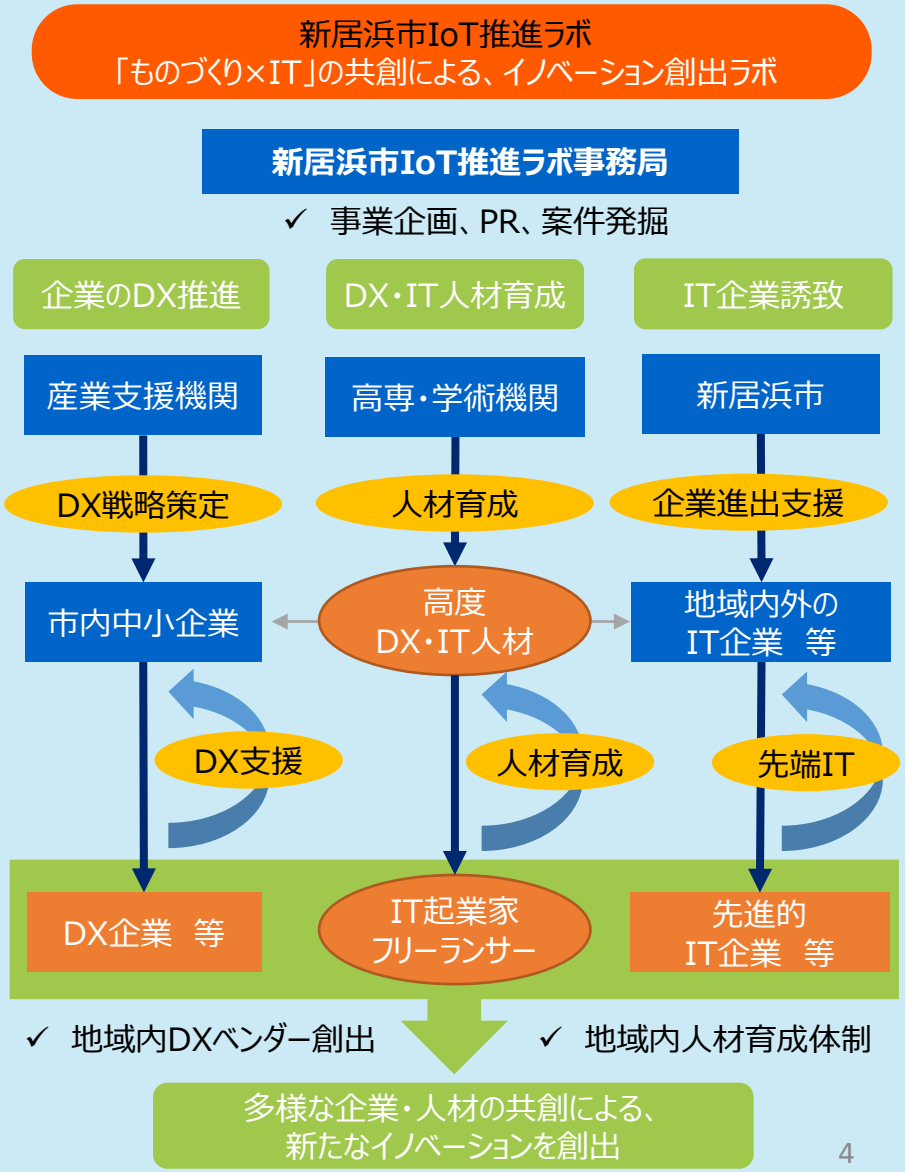
事務局

- 新居浜市IoT推進ラボ事務局

参加プレイヤー

- 市内中小企業
- えひめ東予産業創造センター
- 新居浜工業高等専門学校
- 産業技術総合研究所 四国センター

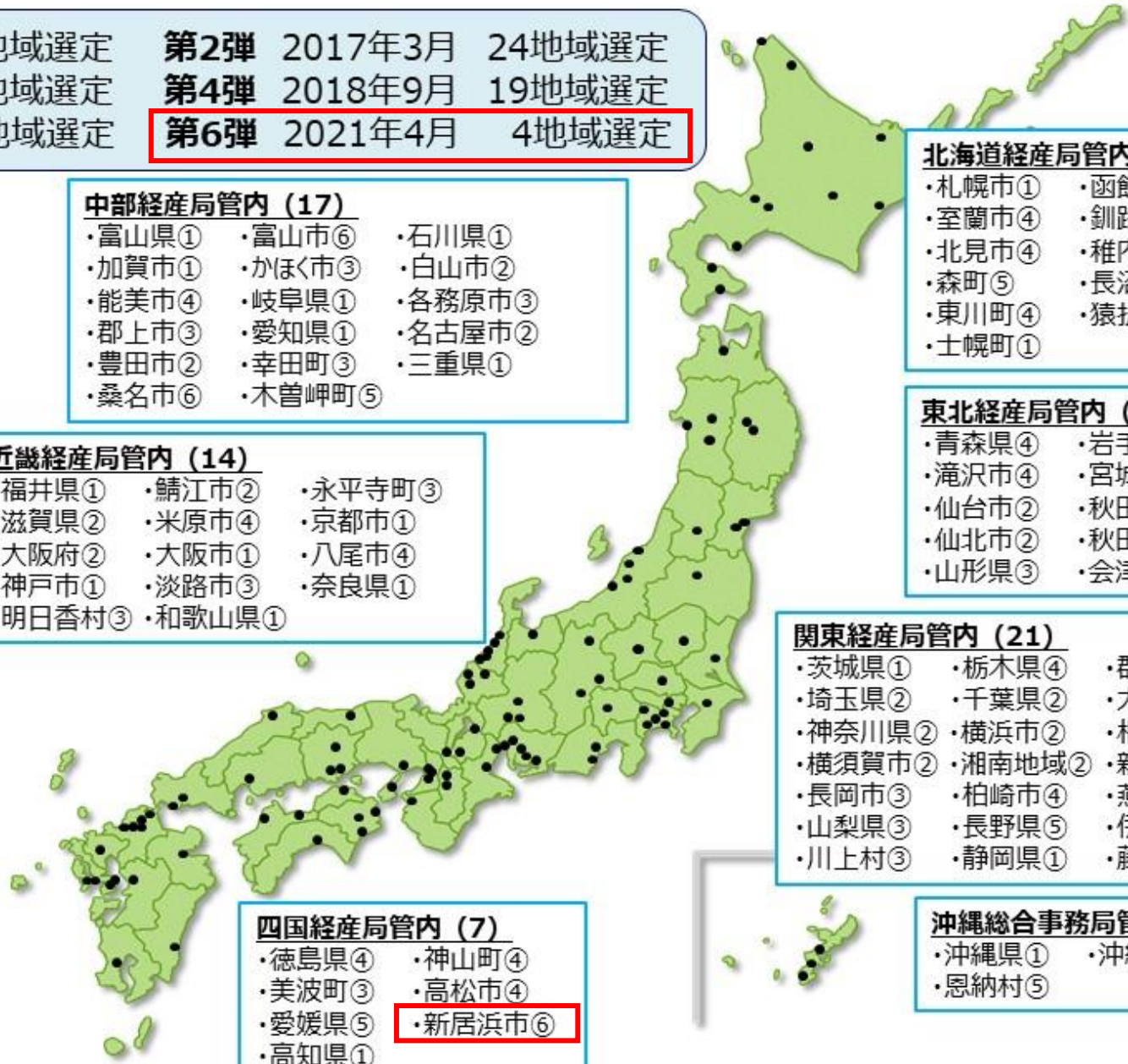
事業イメージ



地方版IoT推進ラボ選定地域（全国105地域）

第1弾	2016年7月	29地域選定	**第2弾**	2017年3月	24地域選定
第3弾	2017年8月	21地域選定	**第4弾**	2018年9月	19地域選定
第5弾	2019年9月	8地域選定	**第6弾**	2021年4月	4地域選定

※丸数字は選定時期



北海道経産局管内（11）
- 札幌市①
- 函館市②
- 室蘭市④
- 釧路市①
- 北見市④
- 稚内市④
- 森町⑤
- 長沼町④
- 東川町④
- 猿払村③
- 士幌町①

東北経産局管内（10）
- 青森県④
- 岩手県④
- 滝沢市④
- 宮城県①
- 仙台市②
- 秋田県④
- 仙北市②
- 秋田横連携③
- 山形県③
- 会津若松市①

中部経産局管内（17）
- 富山県①
- 富山市⑥
- 石川県①
- 加賀市①
- かほく市③
- 白山市②
- 能美市④
- 岐阜県①
- 各務原市③
- 郡上市③
- 愛知県①
- 名古屋市②
- 豊田市②
- 幸田町③
- 三重県①
- 桑名市⑥
- 木曽岬町⑤

近畿経産局管内（14）
- 福井県①
- 鯖江市②
- 永平寺町③
- 滋賀県②
- 米原市④
- 京都市①
- 大阪府②
- 大阪市①
- 八尾市④
- 神戸市①
- 淡路市③
- 奈良県①
- 明日香村③
- 和歌山県①

中国経産局管内（8）
- 鳥取県③
- 島根県①
- 岡山県③
- 津山市⑥
- 瀬戸内市③
- 広島県①
- 山口県②
- 宇部市⑤

関東経産局管内（21）
- 茨城県①
- 栃木県④
- 群馬県③
- 埼玉県②
- 千葉県②
- 大田区③
- 神奈川県②
- 横浜市②
- 相模原市②
- 横須賀市②
- 湘南地域②
- 新潟県②
- 長岡市③
- 柏崎市④
- 燕市⑤
- 山梨県③
- 長野県⑤
- 伊那市①
- 川上村③
- 静岡県①
- 藤枝市③

九州経産局管内（14）
- 福岡県①
- 北九州市①
- 福岡市①
- 直方市⑤
- 嘉飯桂地域②
- 佐賀県②
- 長崎県②
- 長崎市②
- 島原市④
- 南島原市③
- 熊本県①
- 大分県②
- 宮崎県②
- 鹿児島県①

四国経産局管内（7）
- 徳島県④
- 神山町④
- 美波町③
- 高松市④
- 愛媛県⑤
- 新居浜市⑥
- 高知県①

沖縄総合事務局管内（3）
- 沖縄県①
- 沖縄市④
- 恩納村⑤

事業概要

○地域のデジタル化に関する事業を総合的に実施（事業実施機能）

企業のDX推進

- ＤＸ戦略の策定
  （ＩＴ専門家の派遣等）
- DX化の機運醸成
  （ＩｏＴワークショップ開催）

ＤＸ・IT人材の育成

- 社会人向けDX人材の育成
  （ＤＸセミナーの実施）
- 学生向け人材育成
  （ＩＴへの興味・関心の喚起）
- ＩＴ起業家の創出
  （経営＋デジタル技術の育成）

IT企業の誘致

- ＩＴ企業誘致
  専用ホームページの開設
- ＩＴ企業誘致
  ＰＲ用映像コンテンツ作成
- 企業立地フェアへの出展
  視察ツアーの実施

「企業のDX化」、「DX・IT人材育成」

地域のものづくり技術を強みとし、企業誘致を推進

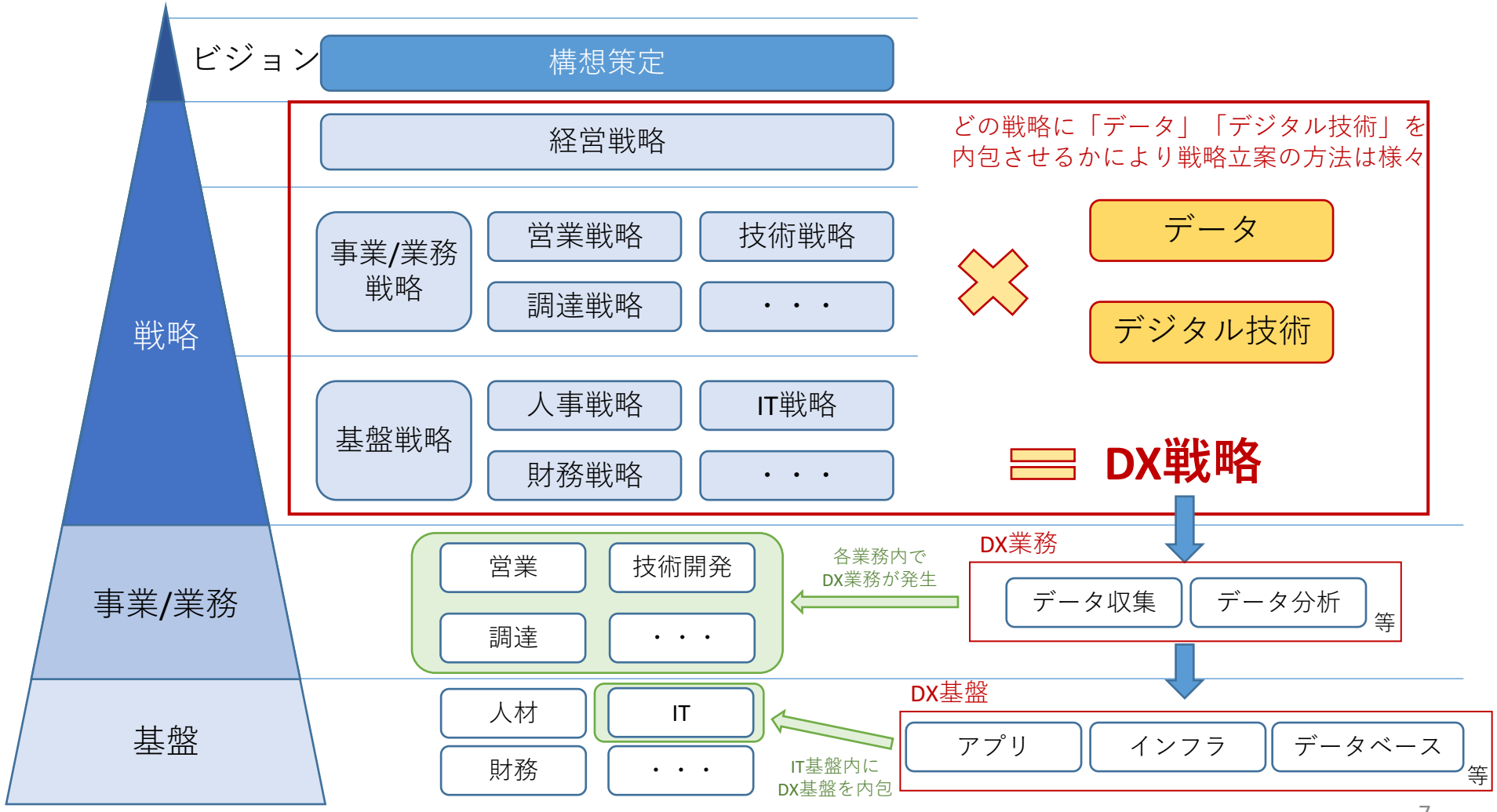
○地域のデジタル化に関する相談窓口・情報集約機関（ラボ機能）

→ 地域全体のデジタル化の推進

ラボ委員会	全体の企画・事業について協議・承認を行う	ワーキンググループ	個別分野の協議や企業同士の交流促進
ラボ総会	年一回開催 全体会	ラボメンバー	ラボ参画企業 （ＤＸ関心企業、ＤＸ推進企業等）

DX戦略とは？

■ DX戦略とは、経営戦略や事業戦略等の各戦略に「データ」と「デジタル技術」を内包させた戦略のことで、ビジネスモデルや製品・サービス、業務・プロセス、組織、企業文化・風土を変革させることを目的としている



企業のDX推進（DX戦略の策定）

Hello! NEW 新居浜

● 企業の課題に応じたDX戦略の策定を支援する。

支援の流れ

0．企業訪問調査

1．企業課題の抽出

2．ＤＸ戦略の策定

3．対象領域の選定

4．定量的な目標の設定

5．施策の検討･比較

6．実行

①外部/内部環境の分析

- ●環境分析
- ●競争力強化方針

②課題の特定

- ●現状整理
- ●課題認識
- ●課題に対するデジタルバリュー

③コンセプト設定

【既存事業変革】
- ●変革方針
  （業務、IT、制度、プロセスなど）

【新事業、サービス創出】
- ●ソリューション仮説
  （顧客、ビジネスモデル、デジタルバリュー、サービス内容）

④施策の具体化

- ●施策
  （情報システム、制度･仕組み、組織、人材など）

⑤戦略目標の設定

- ●数値目標、KPI等
- ●必要な経営資源
  （投資金額など）
- ●モニタリング方法

⑥ロードマップの策定

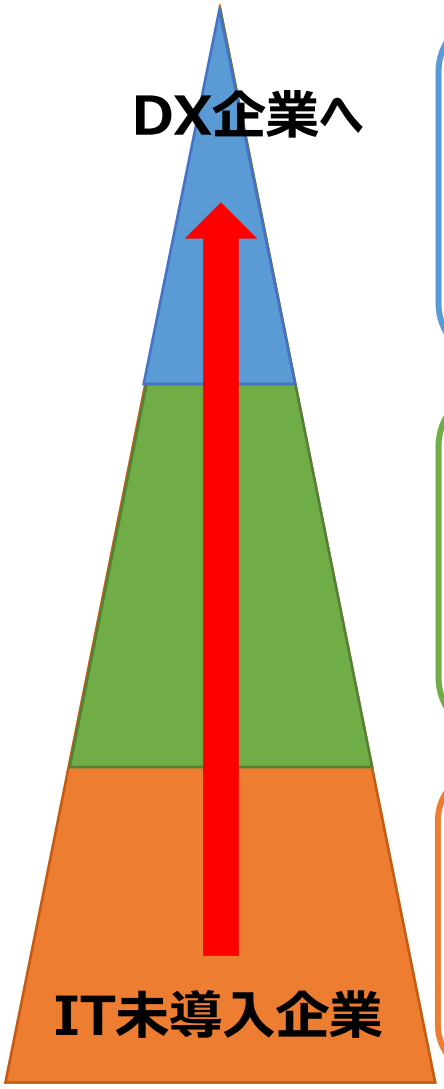
- ●マイルストーン
  （時期、判断基準など）
- ●施策実施スケジュール

出典：NRI

企業のDX推進（DX戦略の策定）

Hello! NEW 新居浜

- 企業のデジタル課題のレベルに応じて、支援体制を構築しています。
  ITを導入していない企業の皆様のはじめの一歩を支援します。



レベル３

訪問回数：６回以上

対象企業数：３～５社

・課題が不明確で、実施内容が複雑で困難なもの
（設備投資額：数百万円以上　やる気・人材が必要）

例：IoTやAIを用いた生産管理や業務の見える化・分析
新しいサービス、製品、ビジネスモデルの創出

レベル２

訪問回数：３～５回程度

対象企業数：１０社程度

・課題がある程度明確で、実施内容が比較的簡単なもの
（設備投資額：数十万～百万円程度）

例：生産管理、在庫管理システムの導入。
RPAなど業務の自動化を図りたい。

レベル１

訪問回数：１～２回程度

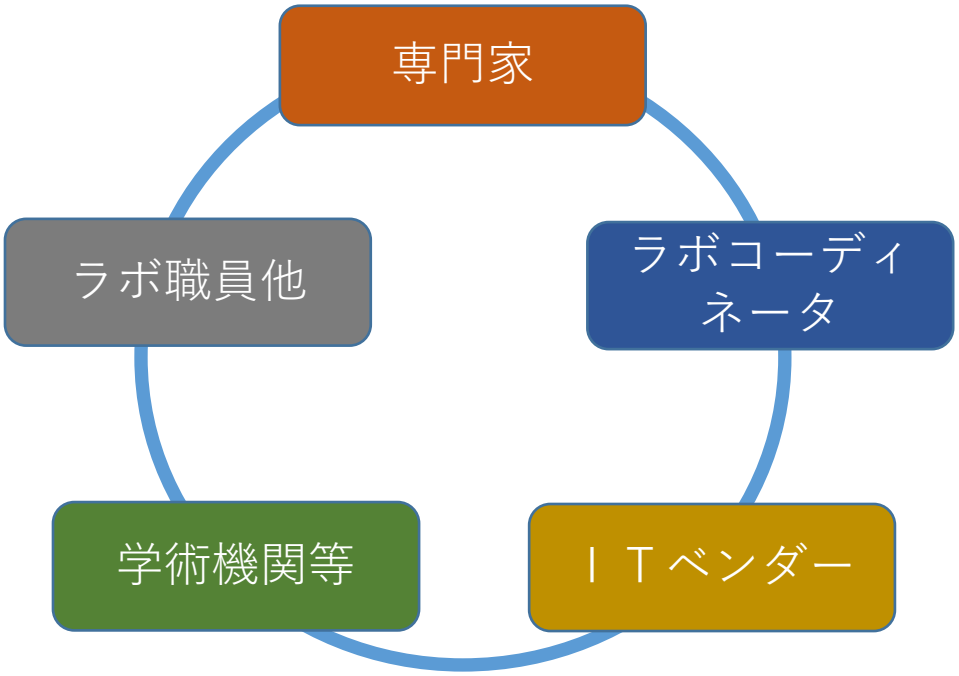
対象企業数：１５社程度

・実施内容が簡単なもの（設備投資額：～数十万円）

例：経理業務や給与計算を簡単にしたい。
テレワークをしたいなど。

支援体制

課題レベルに応じて必要人材を編成。
１～4名程度



専門家	①Gravity　（レベル３） ②ITC愛媛　（レベル１～３） ③中小企業１１９ ④中小企業デジタル応援隊　等
ラボコーディネータ	3名程度
ＩＴベンダー	地域ＩＴベンダー　　等
学術機関等	①新居浜高専 ②愛媛大学 ③産業技術総合研究所　等
ラボ職員他	①えひめ東予産業創造センター ②新居浜市

企業のDX推進（IoTワークショップ）

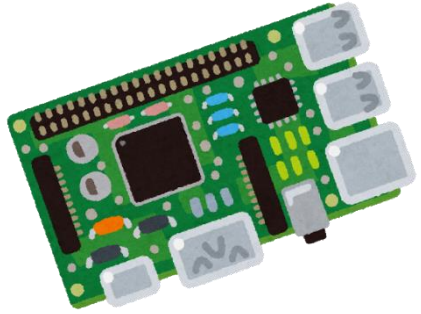
Hello! NEW 新居浜

- ワークショップ形式のセミナーを開催し、デジタルを活用した業務改革（DX)を経験することにより、DXに対する理解促進・機運醸成を図る。
- 開発ツールに応じたワークショップを開催することにより、ユーザー及びベンダー双方のDX推進を図る。

＜開催案＞

○（無料ツール）MZプラットフォームを活用したワークショップ

部品で組み立てるソフトウェア開発ツール
MZ Platform



○（ノーコード･ローコード開発ツール）kintoneを活用したワークショップ

キントーン
kintone

○（シングルボードコンピュータ）Raspberry Piを活用したワークショップ

Hello! NEW 新居浜

ＤＸ･IT人材育成

ＤＸ人材とは･･･
自社のビジネスを深く理解した上で、データとデジタル技術を活用して
それをどう改革していくかの構想力を持ち、実現に向けた明確なビジョンを描くことができる人材

○ 社会人向けのDX人材育成

社会人向けに、社内のＤＸ推進を実現できる人材育成を実施。

◇DXセミナーの実施（DXに必要となる先進技術に関する知見･トレンドの把握）

第１回：DX全般　第２回：RPA　第３回：AI　第４回：IoT

○ 学生向けのIT人材育成

学生向けに、ITへの興味･関心を喚起する事業を実施。

◇プログラミング体験教室（小学生･中学生対象）

はじめてプログラミングに触れる小学生･中学生等に、
プログラミングを身近に感じ、興味を持ってもらう体験イベント。

◇WEBマーケティングを通じて地元製品の販売体験（高校生対象）

地域の高校と連携し、生産者インタビューやネットショップの出品･販売を
実施することで、実践的なスキルを身につける。

プログラミング体験教室
一般財団法人高度技術社会推進協会
ホームページより引用

Hello! NEW 新居浜

ＤＸ･IT人材育成

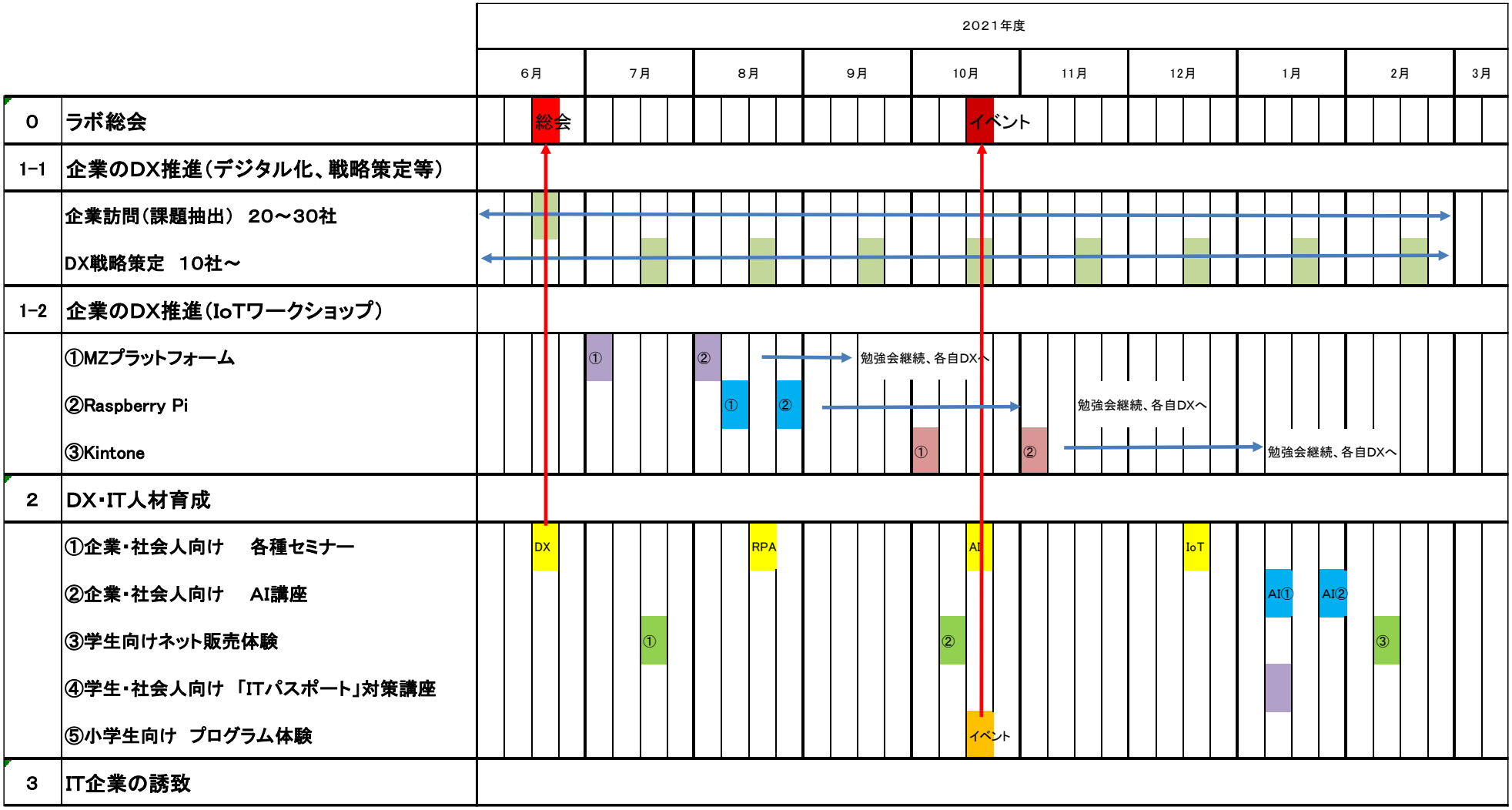
○　学生･社会人に対するIT基礎知識の取得促進、取得者への人材育成

①ITに関心がある市民を対象とした、ITパスポート取得講座の開催。

②ITパスポート取得者を「新居浜市デジタル（DX)アンバサダー（仮称）」として登録。

→セミナーや交流会への案内に加え、登録者を対象にしたセミナーや勉強会の実施により、デジタル人材の育成を図ります。

全体スケジュール


2021年度
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
0 ラボ総会
総会
イベント
1-1 企業のDX推進（デジタル化、戦略策定等）
企業訪問（課題抽出） 20～30社
DX戦略策定 10社～
1-2 企業のDX推進（IoTワークショップ）
①MZプラットフォーム
②Raspberry Pi
③Kintone
勉強会継続、各自DXへ
勉強会継続、各自DXへ
勉強会継続、各自DXへ
2 DX・IT人材育成
①企業・社会人向け 各種セミナー
②企業・社会人向け AI講座
③学生向けネット販売体験
④学生・社会人向け 「ITパスポート」対策講座
⑤小学生向け プログラム体験
DX
RPA
AI
IoT
AI①
AI②
イベント
3 IT企業の誘致

①　ＤＸ戦略の策定

⇒「こんなことがしたい」「あんなことができたら」という実現のための、
理想と現実のギャップをどう埋めるのか、それを支援する。

②　ＤＸ・ＩＴ人材育成

・各種ワークショップ（デジタル技術に触れる）
・各種啓発セミナー（ＤＸ啓発）
・資格取得支援（ITパスポート）

③　ＩＴお試し体験（仮）

・　Wi-fi 工場内ＬＡＮ　、　ツールやアプリ　など

④　補助施策の活用

・ＩＴ導入補助金（国）
・中小企業振興条例補助金（市）
・先進的技術実証事業（ＡＩ・ＩｏＴ等）　等

①　地域におけるＤＸ・ＩＴに関する機運の醸成

⇒「こんなことしたい」「あんなことができたら」の実現に力をお貸しください。

②　ＤＸ・ＩＴの人材育成

・各種ワークショップ　（仕事の幅を広げる）
・各種啓発セミナー　（ＤＸ啓発）

③　ものづくり×ＩＴ 交流会（仮）

・ＩＴ技術・サービスの展示会

④　ＤＸ・ＩＴ業界から注目され、ＩＴ人材の集まる街へ